

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
☎ 042-795-7361 (FAX: 必  
要に応じて186を頭に加える)  
議会 042-724-2171  
yoshidaben@gmail.com



## 議案内容:子どもの権利条約と条例制定①

町田市は、「町田市子どもにやさしい条例」する議案を今議会に提出しました。この議案の趣旨は、子どもにとっての最善の利益を優先して考慮され、子どもが幸せに暮らすことができる「子どもにやさしいまち」の実現を目指すとしています。その子どもの権利として、「生きる権利」、「育つ権利」、「守られる権利」、「参加する権利」を想定し、その権利を保障する責務を負う主体として、「大人」、「保護者」、「施設管理者」、「地域住民」、「事業者」、「市」に区分し、それぞれに分けて責務を設定しています。この議案に対する質疑の詳細は次号に掲載予定です。(写真は子ども行事の記録)



そもそも、1989年に国連において、「児童の権利に関する権利に関する条約」(日本では子どもの権利条約と読み替え)が採択されており、この条約を日本は1994年に批准しています。このことによって、日本でも、子どもが権利を持つ主体とされています。

## 一般質問:歩道の改良・改修と材料

歩道的美観とスベリ防止の観点から、一販質問に関して、歩道の改良・改修と材料について問いました。美観上では、駅前などの歩道路面をインターロックブロックや特殊カラー舗装(製品名例、ストリートプリント)などに施行することで街の明るさや華やかさを醸し出しています。最近の施工例では、南町田駅の北口ロータリーがありますが、駅前に派出所が出来た時期に合わせ、歩道が全面的に特殊カラー舗装に転換されました。

一方で、JR横浜線ターミナル改札口側では、ミーナの改修に伴い、通路が旧来の滑りやすいタイルからスベリが少ないタイプに交換されました。利用者の要望に合わせて、こうした当初の仕様と異なる材質のブロックやタイルの床材を探し出し、現場に合わせて改良されることは目立たない仕事ですが、街を造っていく、維持していくことで、重要なことだと理解しています。もちろん、財政の無駄使いは避けるべきですが、歩行者の安全を図り、かつ、街の美観向上にもつながることは、道路行政の職務の一つでしょう。なお、JR横浜線成瀬駅の自由通路は、様々の意見を取り込み、より滑りにくい材料に交換されてきました。



様々の改修を重ねた成瀬駅自由通路

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました



若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP  
メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、  
第53期生を受け入れ準備中

## 住民請願：小・中学校の存続を求める請願

請願提出にあたって、紹介議員の署名をする

町田市は小中学校の整理統廃合の方針を出し、それを強力に進めています。国ではクラスを定員40人から35人に引き下げる前提で計画を進めてきましたが、果たして国が求める少人数学級の考えに沿って町田市は統廃合を見込んでいるのか、言えないだろうと考えてきました。

一方で、町田市は将来の人口予測を、個々の事象を捨象した国の統計資料を基にした一般的推定で単純にとらえをおり、町田市のモノレール計画も小田急多摩線の延伸構想の実現による人口増も十分には勘案せずに、学校の整理統廃合計画を単純に進めてきました。



写真：廃校計画が進められる南成瀬小学校

さらに、町田市は効率的のみの立場から、小学校では1学年のクラス数が3クラスを下回らない規模以上で編成するように求めており、2クラスの学校は廃校の対象にしていますが、これから小学校はきめ細かい教育が期待されている状況であり、日本全体の教育の趨勢とは町田市の在り方は反対の方向に進んでいると思われまます。そうした立場から、この間に議会に提出された当該地区の小中学校の廃校に反対し、存続を求める趣旨の請願に、「無所属」会派は、賛成の立場で署名、あるいは委員会や本会議に置いて賛成の表明をしています。

## グーグルの多角的取組を見聞き

東京ビックサイトで見た Google Cloud 事業

Google Cloud Next Tokyo '23を東京ビックサイトで見学しました。今回は、Googleのパートナー企業の事業について記述しました。今回は、Google本体のブースの一部門で、Google Mapを高品質化したデータを持ちいて、3次元動画を紹介していたことを報告します。

空間の中に新たに構造物を設置する場合の環境調査をネット上だけで取り扱えるように合理化したツールとして利用することや、都市空間と建物等の3D動画で見せてくれるものでした。気候や植物の生育情報等の生成AIのデータを取り込んで個々の地域の花粉飛散量を予測し、住民の対処情報を提供することも可能になるようです。都市空間と建物等の3D動画情報は自治体の観光魅力情報に利用でき、花粉飛散量の予測は首都圏では自体体の住民生活の安定に寄与する情報提供になるでしょう。

今後、それらが自治体向けに直接販売されるものか、それともグーグルのパートナー企業がその有料サービスを行うものか、その点までは推測が付きませんでした。翻って、日本企業の技術開発の立ち遅れが心配です。



◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2023年9月末までに105名が参加しました。  
◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。